

難治性疾患の臨床評価に有用な血液リンパ球サブセットの研究

についてのご説明

●はじめに

ヒトにとって免疫システムは病原体から自らの体を守るために大変重要な仕組みであり、いったん免疫システムに異常が起こると感染症、アレルギー、自己免疫疾患、がんなどの様々な難治性疾患が発症することがわかっています。この研究では難治性疾患の診断や治療の効果などの評価をするために役に立つ新しいリンパ球を探し出して、それらが実際に役に立つかどうかを確かめることを目的としています。

●研究対象

2014年1月1日から2017年8月31日の間に当院にて診療と血液検査を行い、難治性疾患でないと診断された方100名を対象にしています。難治性疾患とはアレルギー、自己免疫疾患、がんなど免疫システムの異常が原因で起こり、治療が難しく、長期の加療を必要とする病気のことを指します。

●研究内容

当科で難治性疾患でないと診断された方の血液検査や画像検査のデータや症状に関する基本的なデータを使って集計し、難治性疾患の患者さんのデータと比較検討を行います。一部の方は、血液検査の残りの血液や生検をして病理検査を行った残りの組織を使って、新しいリンパ球が存在するかどうかを調べます。なお、この研究を行うことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。

●患者さんの個人情報の管理について

論文、学会発表のため検査結果の公表を行う際には個人情報の漏えいを防ぐため、個人を特定できない形で行います。本研究の実施過程およびその結果の公表(学会、論文)の際には患者さんを特定できる情報はいっさい含まれず、目的外の使用を行いません。

●患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について

対象期間の方の中でこの研究に診療データを提供したくない方は下記まで御連絡ください。ただし、御連絡をいただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合や研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

● 研究期間

病院長承認日から 2027 年 3 月 31 日まで

● 利用する情報

カルテ情報 : 診断名、年齢、性別、身長、体重

検体 : 当院で保管されている血液や組織

画像検査情報 : MRI、CT、PET、エコー検査画像、レントゲン写真

● 共同研究施設名称及び研究責任者

札幌共立五輪橋病院 呼吸器科 氏名 重原 克則

医療法人社団愛和会 愛内科クリニック 呼吸器科 氏名 重原 克則

● 医学上の貢献

研究成果は難治性疾患の発症機序の解明及び難治性疾患の新しい治療法の発見の一助になり、患者さんの治療と健康に貢献できます。

● 問い合わせ先

〒060-8556 北海道札幌市中央区南 1 条西 17 丁目

札幌医科大学フロンティア医学研究所免疫制御医学部門

札幌医科大学附属病院 耳鼻咽喉科

本院研究責任者 亀倉 隆太

同研究分担者 高野 賢一 (耳鼻咽喉科学講座 教授)

高橋 弘毅 (呼吸器・アレルギー内科学講座 教授)

千葉 弘文 (呼吸器・アレルギー内科学講座 准教授)

宇原 久 (皮膚科学講座 教授)

肥田 時征（皮膚科学講座 講師）
舛森 直哉（泌尿器科学講座 教授）
田中 俊明（泌尿器科学講座 講師）
一宮 慎吾（フロンティア免疫制御医学 教授）
高橋 裕樹（免疫・リウマチ内科 教授）
鈴木 知佐子（免疫・リウマチ内科 助教）

【平日】 電話 011-611-2111 内線 27950（教室）

【休日・時間外】 電話 011-611-2111 内線 34960（4階南病棟）